



RI 第2610地区

東となみロータリークラブ会報

2016-2017 年度 No.10

事務局(新) 〒939-1652 富山県南砺市福光新町 56

TEL 0763-55-6125

FAX 0763-55-6147

h.tonamirc@gmail.com

2016—2017 年度 会長 山本武夫、幹事 得永忠雄

2016-2017 年度 RI テーマ



(ジョン F. ジャーム会長)

例会記録

第1828回例会

平成28年9月7日(水) よいとこ井波

1. 開会点鐘：会長
2. 国歌「君が代」斉唱
3. ソング：奉仕の理想
4. ビジター：石崎和三会員・湯浅勇喜会員(南砺 RC)



5. 月誕生日：横山豊介会員(20日)浅田会員(24日)長谷川会員(25日)・・・バースディソング



6. 2015-2016 年度会計決算報告(得永幹事)：資料配布、全員拍手で承認される。



7. 会長の時間：前年度の決算について承認いただき有難うございます。幹事が都合で早退しましたので、幹事報告も致したいと思います。先程行いました理事会及びロータリーリーダー準備委員会についても報告をします。①9月の例会は計画書のとおり4回実施します。②「第3回ロータリーリーダー」については、先ほど準備委員会を行い、公共イメージの向上を目的として、期日を11月16日の夜間、オープン例会とし、会長卓話(ロータリーと当クラブの紹介)の後、ゲストと懇親会(グループに分かれて語り合う。)を行う。細部は準備委員会で詰めていきます。③太田行隆会員の所属は、親睦委員会に決定。④RI規定審議会内容について理事会等で協議の場を設ける。⑤R財団100周年記念ニコBOXについては、11月27日東京での記念シンポ及び2020年東京RC100周年記念事業の負担を含めて一人1000円を口座引き落としをお願いしたい。⑥地区大会の役割分担については、今月末までに担当割案を作成され皆さんに依頼されると思いますので、協力をお願いします。また、5クラブ以上共同プロジェクトについて、中味がまとまりました。日時は10月12日(水)午後6:30~8:30、場所は高岡のウイングウイングであり、高岡市内の保育園・認定こども園・幼稚園等を参加対象とし、基調講演並びに特別講演が行われます。1クラブ20,000円の負担金。⑦秋の家族旅行について、期日は11月2日、内容等

は親睦委員会で案を作成する。⑧高瀬神社奉納剣道大会について、期日は9月19日、会長が出席します。なお、RCに対してより理解をいただき今年度から大会顧問という役職になります。朝晩めっきり涼しくなりました。体調に気を付けて食欲の秋を満喫していただきたいと思います。

8. 委員会報告：①出席委員会(横山幹委員長)：21名中17名出席(80.95%)



9. ニコニコBOX(SAA：本日9名)

山本武夫会長：ようやく朝晩涼しい！5クラブ以上共同プロジェクトがようやく決定！10月12日高岡
得永幹事：スパコン DC サーバ DC の調査が開始。2万㎡の市施設跡を利用予定(4庁舎)

横山豊介会員：誕生祝いに感謝。

小西会員：所用のため、早退します。.

浅田会員：年金生活、丸2年、誕生祝いに感謝。今日は井波大火記念日、神事に参加のため、早退します。

坂井会員：日本温泉科学会があり、早退します。

長谷川会員：誕生祝いに感謝、本日卓話宜しく！

中島会員：先週ミュージカル、今週ピアノ発表会、来週祖父母参観、孫中心の我が家です。

太田会員：天下の加賀屋さん油断、食中毒菌怖い！



卓話「基本的教育と識字率向上月間にちなんで。」

長谷川吉美会員

長谷川会員： 識字率向上について私なりに勉強したことをお話しします。いったい全世界にはどのくらいの人口がいるのか調べましたところ、全世界には73億人がいる。

そのうち1位は中国で13億6700万人、2位がインドで12億5200万人。その中の子供たちが教育を受けられず、成人が読み書きできない国や地域がある事を知りました。そのような地域で基本的な教育をして識字率を上げれば、しっかりとした生活ができ、貧困から抜け出せるのではないかと、そういった活動にロータリーが取り組んでおり6つの重点分野の一つだということを知りました。内容としては、まず児童が質の高い教育を受けられるようにすること。男女均一教育を同時にすること。成人の識字率を高める。等を行っている。これを支えているのがグローバル補助金であり、各分野の方々が共同で進める大きなプロジェクトであると知りました。具体的には、成人の識字教育であります。ロータリーが活動した成果から2000年以来、読み書きのできない成人の数は減少しつつあります。しかし、まだ字が読めない成人が7億8100万人でその3分の2近くが女性となっており、地域としては、南アフリカ、中東、南西アジアの人達でした。理由としては、女性の社会的立場が弱い、経済的な理由、家計のために女性が働く、等々である。他の理由としては、学校の数に限られているので遠距離通学となり、通学時の性暴力被害の問題もある。また、学校に十分な衛生施設がない。ロータリーとしての具体的な事例としては、グアテマラで水洗トイレの設置、手洗いやエイズに関する教育等を行い、女子でも通える学校づくりの活動を行っている。一方、なぜ子供が教育を受けられないのか。理由としては、①親が教育費を払えない。②子供が家庭の労働力となっている。③教育自体が重視されていない。④健康問題のため、となっている。解決策としては、親の職業訓練、保育園の設置・授業時間の柔軟対応、学校説明会の開催、エイズ等の疾病について認識向上を図る。などである。初等教育を受けても次に繋がらないという現実もある。公用語だけでなく地域だけの言葉があり、英語圏なので英語で表記しても、字が読めないという現実がある。これらに対するロータリーの活動のすごいところは、母語を英語に訳し、更に公用語に直すという作業を行う人を現地に派遣して継続した教育をしていることである。素晴らしいことだと知りました。ロータリーの6つの重点分野が一つになっているということを改めて認識しました。

(会報担当) 中島・長谷川(写真)・山本武夫